

第35回国立大学法人動物実験施設協議会
「施設長・教員・事務職員懇談会」

『大学及び動物実験施設をめぐる動物実験管理システムの多様化と
先進的な取り組み』

開催日時：平成21年5月22日(金)、午前 8:30～12:00

会場：琵琶湖ホテル、3階、瑠璃の間(E・C)

(懇談会の構想)

アンケート結果から施設および動物実験管理システムの多様化の実情と各施設の課題を整理し、打開するための先進的な取り組みを実施している施設に対応策を紹介して戴き、施設活性化の道筋を探るための活発な討論を展開していただきたい。

座長：塩見 雅志(神戸大学)、手塚 英夫(山梨大学)

○開会挨拶 国立大学法人動物実験施設協議会会長 笠井 憲雪

I. 「大学及び動物実験施設をめぐる動物実験管理システムの多様化とその問題点」に関するアンケート結果の報告調査委員会：塩見 雅志(神戸大学)

II. 先進的な取り組みの紹介

1. 改修・増築・建替えについて

- ・續 輝久(九州大学)：九州大学における施設改築について
- ・松田 幸久(秋田大学)：秋田大学における最近の動物実験部門運営状況
- ・八神 健一(筑波大学)：PFI 方式による施設設備と維持管理

【セクションディスカッション】

2. 施設運営の効率化と施設の独自性について

- ・藤原 隆(愛媛大学)：大学の方向性に即した効率的な施設運営
- ・浅野 雅秀(金沢大学)：センター化した金沢大学での新しい取り組み
- ・山田 高也(島根大学)：地域連携による施設の充実
- ・黒沢 努(大阪大学)：英語による動物実験の教育訓練

【セクションディスカッション】

3. 施設の活性化

- ・浅田 祐士郎(宮崎大学): 動物実験の教育・管理支援体制の強化に向けた取り組み
- ・鳥居 隆三(滋賀医科大学): 特徴を作り出すことによる施設の活性化—滋賀医科大学・動物生命科学研究センターの紹介—

【セクションディスカッション】

III 総合討論

IV まとめ 手塚 英夫(山梨大学)